心をねらう共謀罪　ターゲットはあなた！

作：大福きなこさん（日本共産党岡山県委員会のホームページより）

折り目

共謀罪 自公維 疑問封じて強行

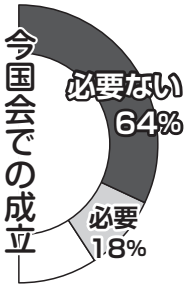
法案はボロボロ 力あわせ 廃案に

ハッキリしました

自民、公明、維新が「共謀罪」法案を強行しました。答弁するほど問題が広がるもと、採決に逃げ込んだというのが実態。世論調査でも反対が増えています（4月39.4%→5月41.4%「共同」調査）。力を合わせ必ず廃案に。

心の中を処罰する

政府は「内心」でなく、「『準備行為』があって初めて処罰」といいます。しかし「普通の花見と『準備行為』の花見の違いは」の質問に「ビールと弁当持ちが花見、地図と双眼鏡が下見」とでたらめ答弁。「話し合い、計画で処罰する」――違憲立法そのものです。



「朝日」16日付

「テロ対策」はウソ

国際組織犯罪防止条約批准のためと言いますが、条約はマフィアなど経済犯対策。原案には「テロ」の文言は一切ありませんでした。

「共同」（20、21日調査）

一般人が対象に

岐阜県警は風力発電に反対する市民を監視し、中部電力の子会社に情報提供。しかし警察は「適正だった」と居直っています。だれが一般人かは警察が決めます。

日本共産党

近畿民報
2017年5月 No.4（第282号）
発行／日本共産党国会議員団 近畿ブロック事務所
〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。